

# 令和5年度 第2回古賀市地域公共交通会議 ・第2回古賀市地域公共交通会議（法定協議会） 会議録

○日時：令和5年10月20日（金）14時00分～16時00分

○場所：古賀市役所第2庁舎5階 501、502、503会議室

## ○委員の出席状況

### 出席者

|                  |           |        |      |
|------------------|-----------|--------|------|
| 【会長】九州産業大学       | 理工学部 教授   | 稲永 健太郎 |      |
| 【副会長】公募市民        |           | 久池井 良人 |      |
| 古賀市              | 総務部長      | 渋谷 倫男  |      |
| 古賀市              | 建設課長      | 小湊 正博  |      |
| 西日本鉄道株式会社        | 営業第三担当 課長 | 中島 将吉  | (代理) |
| 株式会社古賀タクシー       | 代表取締役     | 後藤 正典  |      |
| 花鶴タクシー有限会社       | 代表取締役     | 保井 享   |      |
| 一般社団法人福岡市タクシー協会  | 専務理事      | 富原 毅   |      |
| 公募市民             |           | 飯尾 みどり |      |
| 西日本鉄道労働組合        | 自動車対策部長   | 鞭馬 隆行  |      |
| 九州運輸局福岡運輸支局      | 支局長       | 傳 勝博   | (代理) |
| 九州旅客鉄道株式会社       | 赤間駅 駅長    | 森武 晋一郎 |      |
| 社会福祉法人古賀市社会福祉協議会 | 総務・地域課長   | 多田 祐二  |      |
| 大分大学             | 経済学部 教授   | 大井 尚司  |      |

### 欠席者

|               |             |        |
|---------------|-------------|--------|
| 一般社団法人福岡県バス協会 | 専務理事        | 中川原 達也 |
| 福岡県粕屋警察署      | 交通第一課交通規制係長 | 佐田 晃一  |

### オブザーバー

|                |        |       |
|----------------|--------|-------|
| 福岡県企画・振興部交通政策課 |        | 長田 佑一 |
| 古賀市            | 都市整備課長 | 水上 豊  |

○事務局：古賀市経営戦略課 星野課長、吉野係長、横山主幹、吉武  
株式会社ケー・シー・エス 金丸、木野、上田

○傍聴者：1名

### ○配布資料

資料1：古賀市地域公共交通網形成計画の進捗状況と検証-

資料2：古賀市地域公共交通網形成計画策定当時の地域公共交通を取り巻く状況

## の変化

資料3：古賀市のまちづくり関連計画の更新状況

資料4：地域交通法の概要

資料5：古賀市の地域公共交通の問題点と課題-

資料6：今後のスケジュール

資料7：公共交通地域協議会について

資料8：AI オンデマンドバス（のるーと古賀）について

資料9：西鉄バス古賀市内線について

資料10：コガバス（古賀市公共施設等連絡バス）について

## ○会議概要

### 1. 開会

|        |   |
|--------|---|
| 経営戦略課長 | あいさつ  |
| 事務局    | 委員の任期（令和7年7月11日まで）、委嘱書について説明。<br>事務局の司会のもと、会長、副会長の互選が行われ、立候補がなかったことから、事務局より会長に九州産業大学の稲永委員、副会長に公募委員の久池井委員が選出された。 |
| 会長     | 開会のあいさつ   |
| 事務局    | 委員の出席状況及び会議の成立について報告<br>資料の確認   |

### 2. 古賀市の地域公共交通の問題点と課題について

|        |  |
|--------|--|
| 事務局    | （資料1）～（資料6）について説明  |
| オブザーバー | 一番最初の各施策の実施状況の説明で、MaaSの未実施について、福岡県の動きを見据えているためと話しているが、そこが意味がわからなかった。説明をお願いしたい。               |
| 事務局    | 福岡県の動向を見据えながら、市の方でも検討を進めたかったが、そこまで手が及ばなかったということである。  |
| オブザーバー | 福岡県の動向とは具体的にどういう動きのことか教えてほしい。  |
| 事務局    | 九州 MaaS の動きのことで、九州 MaaS がいつ頃始まるのかとか、どういったスキームでスタートするのか等、そういった具体的なイメージがまだ見えていなかったというところの話である。 |
| オブザーバー | 端的にいうと、九州 MaaS の動きがあって、それに対して福岡県がどのように動くのかという動向を見据えたうえで、古賀市がどのように動くのかというような理解でよろしいか。         |
| 事務局    | はい。その理解でよい。  |

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | <p>資料5の5ページで課題とあるが、これは課題ではなく、今後こうするみたいな言葉ではないか。もし課題ということだったら、例えば1は、持続可能性が困難になっているであるとか、2であれば、そういうところの交通サービスが不十分であるとか、3であれば、情報提供が十分ではないとか、そういう書き方にしないと課題にならないのではないかと。ちょっと先走りすぎている気がする。課題を受けて次にこうしますよという言葉が、どうも先にでてしまったような気がするの、ここはなおしていただいた方が良くはないか。</p> <p>課題3に書いてある公共交通の利用促進のところについて、説明の中で、なかなか乗らない市民の話があったが、そのあたりの話は5に書いてある内容と重なってきている気がするの、もし、市民に対する惹起であるなら、課題5の方にきちんと入れていった方が良くはないか。モビリティマネジメントとか、そういった話についてはこちらに入れて、もっと市民の皆様に乗って残してください。事業者が残してくれるのを待ってないでちゃんと皆さん乗らなきゃなくなりますよということぐらいは言ってもいいのではないかと。どこか他人任せになっているということは書いてもいいのではないかと思う。</p> <p>もう1点、3と5に絡む話になると思うが、バス、タクシーの乗務員確保の問題も書いておいた方がいいのではないかと。古賀市単独で何かが出来るというわけではないと思うが、交通従事者の乗務員は、地元に住み、経済活動をしている方でもあるので、地元経済にとっても大事な方であることは間違いないので、そこにむけて何が出来るかということ、書いていただいても問題はないのではないかと。</p> <p>資料6について、パブリックコメントをいつするのか記載がないが、計画書をまとめることになったら、バタバタとスケジュールを組んで行わないといけないと思うが、いつパブリックコメントを行うのかということと最終的に何月完成を目指しているのかということ、仮に、協議しているなかで、議論がもし終わらなかった時に、延ばすことを考えているのかということをお聞かせほしい。</p> <p>冒頭に市よりライドシェアの説明があったが、突然、ライドシェアの様な話が湧いてくるとリスクを伴うと思う。予算等の関係で計画の策定を期限内に終わらせないといけないことは承知しているが、一方で、生煮えのものを計画として出すわけにはいかないと思う。公共交通事業者がきちんと頑張っているの、公共交通をきちんと守っていく意地があることを市民の皆さんに見せつけるぐらいの計画をつくってほしい。問題を深刻に考えているので、そのあたりのスケジュールをどのように考えているのかということをお聞かせ願いたい</p> |
| 事務局 | <p>資料5の課題の表現の仕方については、見直したい。</p> <p>また、乗務員さんの確保であるとか、そのあたり、利用促進を5に、5のところと3がつながるというところについても、書きぶりをあわせて調整したい。</p> <p>今後のスケジュールについて、パブコメに関しては、タイトなスケジュールではあるが、まず、計画自体は年度内で策定したいと考えている。その前、1ヶ月</p>   |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>の期間が必要なので、2月に実施したいと考えている。その中で、議論が不十分な点が出てきそうな場合は、書面なり、追加で会議を開催させていただくなり相談させていただきたい。</p>   |
| 委員  | <p>それでよいと思う。実際、私が関わっているところでは、議論に時間がかかって、最後は6月になってしまったが、その時は、最後のチェックは会議室に集まらず、書面で開催した。それまでは会議室できちんと議論させていただく。この協議会のメンバーの合意を受けて納得したものをパブコメにだすという方針をとった方がよいと思うので、延ばすことを躊躇わずに、むしろ議論をしっかりする方を優先してほしい。</p>   |
| 委員  | <p>市民の立場から言わせてもらいたい。大変詳細な内容でデータも非常に豊富で感心したが、一般市民は、こういった計画は全く知らない。目の前のバス停とかバスの便数とか具体的なものしか見えないが、具体的なものというのは、なかなか改善ができないと思う。計画段階では先の先までいろんなことが出てくると思うが、目の前はあまり変わらない。公共交通に関心がある人は、いろいろ情報を仕入れて夢を描くが、普通に生活していたら、やっぱり公共交通の会話は薄いので、そういうところを伝えるということを何とかしていけないと思う。計画が進んでいくと、計画に伴う予算がまた必要で、予算がつかなければ、実現しない。そうするとなかなか到達点が見えないという所を一つ思った。今日の会議も膨大なデータだけではなく、どこからどう話を進めていったら良いのかと言うのがひとつある。今後また絞られていくのだと思うが、その所はよろしくお願ひしたい。</p> <p>市民が乗らないということが問題になっているが、北九州市や佐賀県では、一日公共交通の無料デーを設けており、今まで乗らなかった市民の方々が乗るようになって認知度があがったと聞いた。北九州に関しては2倍になったと聞いている。無料デーだから2倍になったということのもあるかと思うが、全く利用されていない方が利用されるようになると何らかのかたちで知るようになる施策。そういったいろいろなことでアプローチをしないと、市民は乗らなくなると思う。</p> <p>古賀市内線の利用状況について、ICカードのデータから資料が作成されていると説明があったが、ICカードで乗っている人ばかりではないのではないのか。例えば、70歳以上の高齢者のおでかけバスを利用されている方は、ICカードのデータに入っていないと思う。そうすると、古賀市内線は高齢者の方の利用数が多いように思うが、その方々のデータは入っていないのかなというのが気になる。ICカードで乗られた方のデータのみで作られた資料であれば、全体の利用状況を示すものなのかとちょっと疑問に思った。</p> |
| 事務局 | <p>一点目について、現在、筵内と小竹において、地域協議会を一年以上継続して開催している。地元の方には、地域で公共交通を守っていただかないとどうにもならない。地域で決めたことを実施していきたいが、利用してもらわない限りどうにもなりませんよということを伝えている。実際、地域で決めたことをコ</p>   |

|    |   |
|----|---|
|    | <p>コミュニティで守っていくという意識はかなり高くなってきている。今後、そのような協議会を市内のいろいろなところで開催していくなかで、本当に自分たちの公共交通を自分たちで守るという意識をもつ市民の方々が増えて行くと実感しているので、継続して実施していきたいと考えている。</p> <p>市民にみえる具体的な計画に関して、計画の方は、どうしても施策単位でということになるので、なかなか、具体的な個別の事業やバス停のあり方について等細かい内容については入って来ないことになるが、計画に基づいて、今後路線の改正にむけての取り組みなど、そういった個別の事業の取組など、市民の皆様にわかるような取組におとしていきたいと考えている。</p> <p>無料デーの話について、バス料金の無料化については、70歳おでかけバス等で既に割引等実施しているので、なかなか難しい点はあるが、昨年導入したのーとこがについては、アプリ登録者に400円のクーポンを発行している。今後も色々工夫しながら、継続して乗っていただく取り組みを検討していきたい。</p> <p>100円バスについては、財源の問題もあり、政策として廃止する自治体が増えていくが、古賀市としては、今の段階ではしばらく継続することになっている。</p> <p>ICカードの件について、数値に関しては、ICカードのデータのみになっており、現金払いの方に関しては数値が入っていない状況になっている。路線別にわけるといえることがかなり難しい部分はあるが、把握できないか検討したい。</p> |
| 委員 | 現金払いの分やおでかけバスの分は利用状況の把握が難しいとは思いますが、全部ではなくてもよいので、日にちを区切ってどこかで調査する等していただきたい。そうすることで、路線毎の特徴がわかるであろうし、傾向をもとに今後考えていくことも出てくるのではないかと思います。  |
| 委員 | これに関して、西鉄バスの方に聞きたい。<br>実際のところ、現金払いの把握ということではあるのか。   |
| 委員 | 現金の支払い金額はわかるので、それが何パーセントぐらいになるのか割り戻すと大体の現金はわかるが、区間となるとやはり取り込んで調査をかけないとわからないのが現実である。現金については、実際、把握は厳しい状況である。  |
| 委員 | 限定的ではあるが、概算はわかるものなのか。   |
| 委員 | 今のICカードも割り戻すとか、現金割合が何パーセントいるので、ICカードの何割で割り戻すとか、そういった参考値ぐらいまでならだせると思う。   |
| 委員 | 今は、完全に状況がわからないということなので、まずは参考値ということになるかと思うが、ぜひ、ご協力をお願いしたい。   |
| 委員 | <p>これから複数回、年度内に協議会をひらくとなっているので、次回の開催日程だけではなく、次回、次々回と先の方まで含めた日程調整をお願いしたい。皆さんで議論を交わして最終的なところは書面での確認でもよろしいかと思っています。</p> <p>タクシーの現状をいうと、福岡市タクシー協会は、福岡市と言いながら、古賀市から西は糸島市、南は筑紫野市まで含めて、あと、粕屋郡全部も含めて8市1郡7町が含まれている。コロナ禍で約3千人ほど、2割弱乗務員の方が減少し</p>  |

|    |   |
|----|---|
|    | <p>たが、福岡交通圏では令和 5 年 5 月をもって底をうった。5 月ぐらいまでは 2 名、3 名と一桁台で乗務員が減少していたが、それ以降は、30 名、40 名という格好で今は若年層の方も含めて乗務員の方が戻ってきている。古賀にもいろいろなタクシー会社があるので、地元で働くという選択肢もあると思うし、また、他の市町村から古賀市のタクシー会社で働くという選択肢もあると思うので、ご家族の方、お知り合いの方等に、ぜひ、タクシー会社で働くことも選択肢の一つとしていただきたい。</p> <p>冒頭でライドシェアに関するコメントがあったが、最近、ライドシェアという言葉に非常に敏感になっている。本日の西日本新聞において、福岡市が提案した事項にタクシー業界が反対をしたというような記事が載っていたが、決して事実ではない。コロナ禍で生活スタイルがかなりかわっており、以前は、タクシーを利用されていた方も、会議をひらくのもリモートでできる時代になったし、出張する必要もなくなったりというようなところで、だいぶ生活スタイルもかわってきているので、タクシーの事業も変えないといけなくなっている。</p> <p>ライドシェアという言葉だけが独り歩きしている部分もあるが、タクシー業界の現状というのは、明るい兆しも少しずつ見えているので、ぜひ、利用していただきながら、何かこういう所が変わってほしいというような要望があればあげてもらえたらと思う。</p> <p>古賀市からは UD (ユニバーサルデザイン) タクシーということで、今年から市の方の助成をいただいて、県とか国とかの助成をいただいた方を含めて利用しやすいタクシーということで、新しいジャパンタクシーをふくめたタクシーの導入も進めているので、ご活用していただきたい。</p> <p>「安心して乗れるタクシー」、「安全に乗れるタクシー」を合言葉に、タクシー業者は頑張っている。過疎地では、自家用有償の選択肢も今後起こりうると思うが、タクシーは、II 種免許をもったプロドライバーが運転しており、しっかりした車両管理・運行管理のもとに運行していることを理解していただきながら、今後も議論させていただきたい。</p> |
| 委員 | <p>古賀市地域公共交通網形成計画について、令和 6 年度までの計画期間ということで認識していたが、今回策定する地域公共交通計画については、令和 6 年 4 月からということで予定をされているのかということと、いつから開始される予定なのかというのを確認したい。また、乗務員の確保について、交通事業者へ乗務員確保に関する要望等ヒヤリングしていただいて、古賀市で取り組めることを施策として書き込んでほしい。他の市町の事例だと、II 種免許を取得する場合の支援、別府市の定住を含めた運転手ドライバー確保の取組、環境の改善等があるので参考にしていただきたい。</p> <p>令和 5 年の地域公共交通法の改正にある「共創」という所で、他分野との連携の話があったが、古賀市において、庁内で観光とか福祉とか教育とか携わっている部署に交通に関する困りごととか要望とか拾っていただいて、課題としていただけたところは課題としていただいて、そこに関する施策も変更いただけ</p>   |

|     |   |
|-----|---|
|     | るところがあれば、変更していただけたらと思う。   |
| 事務局 | 定期的にタクシー事業者さんとは会議を行っているが、改めて、ライドシェアについての話などもあるので、新しい取り組みであるとか、実情を改めて伺って、今後、市として何ができるのかを考え入れられるところを計画的にいれていきたい。計画年度の話について、令和6年4月からこの公共交通計画の発動を予定している。既存の公共交通網形成計画については、こちらに統案されるかたちとなる。  |
| 委員  | <p>委員会に来て、公募が二人しかおらず、地域のことをわかっている人、わかっている年代、本当に困っている人が来ていないことに驚いた。小野校区に住んでいるが、筵内区と小竹区で協議会が行われていることを知らなかった。この委員会を行っても本当の市民の意見があまり反映されずに、そのまま計画が進んでいくのではないかという危機感を感じている。</p> <p>先ほど、ライドシェアについての話があったが、私も以前は、バス停でずいぶん待っている方に声をかけて送って行ったりしていたが、事故を起こした時のことを考えるとよくないのでやめた。ただ、そうしないと長い時間待たないといけない、タクシーをよんでもタクシーが来ないというような状況がある。</p> <p>東中の方は、近くにバス停がないので、雨の日はほとんど車で送り迎えをされている。今在家の今ジョイフルがあるところに新しい道ができてずいぶん経つ。サンコスモ、隣保館、東中等いろいろな施設があるのにどうしてそこにバスを通さないのか。運行ルートの見直しとか、本当に必要な年代の人の意見をちゃんと吸い上げられているのかと感じる。古賀中、古賀北中は近くにバス停があるが、古賀東中の付近はないので、雨の日自転車でみんな濡れて帰っている。小野校区では、公共交通を使うと遠回りで時間がかかるからという理由で、女の子で水産高校まで自転車で通っている子が二人いた。こまごまとした事例かもしれないが、そういったところをきちんと拾い上げて計画をつくっていただきたい。</p> |
| 事務局 | 福祉課より、福祉会等の意見をいただいている。公共交通ですべての人を満足させるルートはなかなか難しいので、そこは、地域に入って合意を得た案を採用するように、今、小竹や筵内ですすめている。来年度以降、地域協議会を増やしていき、各地域で満足いただけるサービスを即座に改善していきたいと思っているので、ご協力いただきたい。   |
| 委員  | アクセスと利用拡大はつながっていると思うので、よろしく願いしたい。   |

### 3. 公共交通地域協議会について～6. コガバスについて

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | 3～6について説明（資料7～10）   |
| 委員  | 西鉄バスの西口の分を東口にまわすという話があったが、現状、東口の開発、そして西口の開発が両面で進んでいるので、その中で、何回も意見を言わせてもらっているが、東口にバスが全部行けば、西口はどんどんさびれてしまうと思う。ただ単に東口の方が便利だからという理由であれば、交通渋滞の発生 |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>もあるし、コガバスについても雨が降ったら 20 分、30 分、郵便局の前まで出られなくて、非常に遅れている状況。東口でも最終的にやむを得ないとなれば仕方ないが、現況の中では、西のロータリー、今の表の分を開発しないと、西口のさびれ方は異常なので、西口を何とかしてほしい。</p>   |
| 事務局 | <p>資料 9 について、今回提案している、西鉄古賀市内線の振替の西口にタッチしない分、緑の路線については、便数の方が非常に少ない。筵内区での地域協議会ででた意見をもとに、この変更案を提案しているが、東医療センターへのタッチを検討しており、更に西口の方までまわると、非常に時間や効率性に影響があるので、緑の路線については、古賀駅東口の方に振り替えたいと思っている。その他の路線については、今回の案の中では変更せず、これまで通り、西口にタッチするようなかたちで考えている。</p> <p>古賀駅西口の活性化と公共交通については一体と考え、今後、495 号線を運行する西鉄バスの路線と連携しながら、西口の活性化と公共交通の維持を考えていきたいと思っている。</p>  |
| 委員  | <p>資料 9 の別紙をみると、先程意見がでたように、市内のバスの路線図のところで、確かに、古賀東中あたりには路線図がはいっていない。生徒さんを含めて需要があるのであれば、こういった系統の見直しも、ぜひできればいいと思う。資料 8 ミーティングポイントの案にもでてきたように、のるーとのミーティングポイントがうまく交わって、495 号線を走る西鉄バスとのつながりをうまく使うことができればもっと活性化するのではないかと思う。</p> <p>先程、同じバス停の所で 1 時間ぐらい待つ方がいるという話があったが、100%、余り待たずに 5 分 10 分で接続するというのは大変なことだと思うが、バスだけじゃなく、タクシーだけじゃなく、複数の交通がうまく結びつければ、こののるーとも生きてくるのではないかと思う。ミーティングポイントを増やすだけではなく、このバス路線図と重ねあわせて考えていかなければならないのではないかと思う。</p>  |
| 委員  | <p>西鉄バス市内線のルート変更によって利便性が向上して、利用したくなるような内容であれば非常に大歓迎だと思う。筵内を通るバスの便数が非常に少ないのは、利用者が少ないから便数が少ないのか、便数が少ないから利用者が少ないのか、悪循環になると思うが、例えば、東医療センターの方をまわるとしても、便数が非常に少なければ、以前とかわらない状況になるのではないかと危惧する。便数の問題はこれからのことではあると思うが、そのところ改善がなければルートを変えた分の効果がうまく反映されないのではないかと思う。</p> <p>それともう一つ、東医療センターを通過して舞の里の方に行く小竹系統、これと重複するからこれを一本化して無くすというような話が以前あったような気がするが、それには反対だった。元々、便数が少ないのに、たまたま 2 系統あるから、1 つの系統をやめるとなれば、非常に市民の方、使い勝手が悪くなる。舞の里系統と小竹系統では、目的地が同じで、到着時間も変わらないのに、乗降場所によっては、運賃が 50 円違う区間があるのが以前から気になっていた。今回の</p> |



|     |   |
|-----|---|
|     | 資料をみると、舞の里系統の分はそのまま残るというかたちになっているみたいだが、その考えでよろしいか。  |
| 事務局 | 便数については、のるーとと重複する区間の削減であるとか、ルートを変更することによって便数を調整することができるので、効率的になるようなかたちで改正したいと考えており、西鉄に要望を提示することとしたい。また、先程の舞の里系統については、現時点では変更を考えていない。  |
| 委員  | <p>弊社でも乗務員が相当数不足しており、タクシーの運行がなかなか依頼に対して追いつかない状態が今も続いているが、この夏以降、新たに入社をした職員も数名おり、流れとしてはいい方向に進んでいる。</p> <p>筵内の地域協議会の中で、おでかけタクシーを現在利用している方から、利用回数を増やしてほしいという意見がでてきている。のるーとのミーティングポイントを増やしても、実際の所、のるーとの乗客が増えていくのかどうかは検証してみないとわからない。また、新たに一つの施設、バスなり路線なり停留所なりを増やして行く労力よりも、こういったおでかけタクシーのような乗り合いタクシーを増やして行った方が、既存の設備、施設を使いながら対応することが可能になってくるし、のるーとにしても、コガバスにしても、台数を増やせば、その分必ず乗務員が必要になるということにつながるので、まず、既存の施設を有効的に活用した運行をできるかどうかという所を議論の入口に持って行っていただきたい。</p> <p>乗り合いタクシーは、古賀市内の中だけといった狭いエリアでの運行となるため、割と小回りのきく、融通が利く話を今後積み上げていけるのではないかと思う。ぜひとも、乗り合いタクシー、おでかけタクシーというものを、もっと活用していただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>筵内のおでかけタクシーについて、地域協議会の中で、以前の利用回数に戻していただきたいという意見がある。おでかけタクシーは、地域の中で話しあいをしていただき、地域において、限られた予算の中でルールを決めていただいて効果的に活用していただいている。次回の筵内の地域協議会では、西鉄バスの振替と便数変更、おでかけタクシーの上限の緩和などの案を提案し、どれが一番地域のニーズを満たせるものになるのかとうところを協議しながら、より良い形で改善の方を図っていけたらと思っている。</p> <p>のるーとのミーティングポイントについて、現在、エリア内である、花鶴丘、日吉台、美明の今現在利用されている方等から、ここに合ったら利用したいという意見を聞き取り、現在ののるーとの運行で、戻ってくる時間なども含めて、効率的は運行ができる範囲内での増設を提案している。御理解いただきたい。</p>   |
| 委員  | 資料 9 のバス路線の変更について、この会議の構成員に道路管理者として国土事務所の方が入っていない。今回のルート変更は国道にかかっているので道路管理者との調整をきちんとしないと路線変更ができないので、ぜひ、そこはぬかりなくしていただきたい。特に 3 号線沿いにバス停を作る場合については、今は西鉄バスなので既存の所を活用できるということで問題にならないと思う   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>が、基本的には道路管理者の許可が必要になるので、きちんと調整していただきたい。</p> <p>再編に絡んで、資料 10 コガバスについて、乗務員さんが足りるのかが心配になった。延伸することで、今回路線再編しようとしている系統と重なる地域も結構ある。恐らく、両方残すという選択肢はなくなると思うので、どちらも乗務員さんが潤沢にいるわけではないので、そこは考えていただきたいと思う。両方残すのは今の状況からしてありえないので、地域協議会等でどっちがいいのかという判断をしていただきたい。</p> <p>新宮に行くルートは、エリアがほとんど新宮町に入ってしまったので、新宮町の交通政策と連携して、新宮町からバスを出していただくことをも含めて、考えていただいた方がいいのではないかと。コガバスを通勤時間帯にほしい等要望があるみたいだが、そうすると、現状でコガバスはその時間帯には走っていないので、乗務員の数が必要になると思う。市の施策として、やりたいと思っているのはいいことだし、地域の声を反映するという点に対して異を唱えるわけではないが、実現ができないことを無理に言うのはかえって地域の方の反感をかう気もするので、ぜひ、事業者とよく調整して決めていただきたい。例えば、バスとコガバスの時間を完全にすみ分けてしまうとか、朝晩の多いところは西鉄バスに対応してもらって、昼間をタクシー業者にお願いするという選択肢もあると思うので、そういうのを含めて、ぜひ検討していただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>小竹については、近いうちにもう一度地元の方に提案を持っていく。資料 10 の別紙 2 を 1 案として、コスモス館から小竹を通して新宮中央駅に行く案、その別案として、資料 9 の別紙、路線バスのコスモス館から小竹を通してししぶ駅に行く路線をコガバスに代替する案を持っていきたいと考えている。コガバスが赤ルートを通るのであれば、西鉄の路線バスは筵内のダイヤに全振替、あるいは一台間引くとかいろんな案が出てくると思うが、今の時点では、何案か小竹区に提案して、ご意見を伺ってこようと思っている。</p> <p>現在の赤の小竹系統について、朝と夕方の通勤時間帯の利用が多くなっているため、その時間帯だけ路線バスとして残して、後の乗客が少ない時間をコガバスで代替するのか等、地元と協議していきたい。</p> <p>乗務員については、どこに聞いても人が足りないと言われるので、再任用職員に免許をとってもらい、半直営でするのがよいのか等、今後皆様と協議させていただきたい。</p>  |
| 委員  | <p>福祉部門は住民の方々と話しをする機会が多く、住民の方と話し合いをしているいろんなことを決めたり、自治活動をしたりしているが、公共交通というのは、地域におろせばおろすほど、話を聞けば聞くほど、要望はたくさん出てきて埒があかなくなる。事業者側からすると、採算がとれないから無理なことや、乗務員がいないから無理なこととかあると思う。</p> <p>今後、地域協議会を増やし、いろんな地域の声をひろっていききたいというのは</p>  |

|    |   |
|----|---|
|    | 市の施策としてあると思うし、とてもいいことだと思うが、地域の意見とどうやって折り合いをつけていったらよいのかということをお尋ねしたい。   |
| 委員 | はっきりいって難しい。ただやっていること自体はものすごく高く評価している。実際、地域と協議をできていない地域の方がすごく多い。大分市で、バス停に繋ぐタクシー型の交通で繋ぐものを立ち上げることをずっとしてきたが、本当に乗っている方というのはあんまりわがまを言われたい。わがまを言う方はほとんど乗っていない方であり、あれこれこれこれと言って一番乗らない方である。本当に乗っている方の意見を拾い上げて聞いていただくと、建設的な意見が出る。そういった形に持っていけないと、ただの要望陳情の場になるので、そこだけはぜひ守っていただきたい。地域と協議をするときは、利用して頂いている方の意見を中心によせていただくと、本当にまともなものができると思う。 |
| 委員 | 経験の中でいえることは、現場の声とか、実感とか、そういう所を大切にしないといけない。文句だけ言って、要望だけ出して乗っていない方に対する対応の方に手が回ってしまうのは、本質を見誤っているような気がしている。   |
| 委員 | 要員不足が全国的なニュースで言われているが、長時間労働というのが一番の課題となっており、そこに賃金も加味してきている。この仕組みは、過疎地域の移動手段の確保、悲惨な事故を防ぐ免許返納の取組の一環と認識している。乗務員の高齢化もどんどん進んできている。働き方も含めて、安全な運行体制を確保するため、短い運転時間、短い拘束時間をめざして取組をすすめている。ここはデマンド、ここはバス、ここは鉄道というように、すみわけをしながら、短い時間に乗り継いでもらうという時代に入ってきている。それを動かす乗務員がいるということも分かっていたいただきたい。それを含めた中で、より良いものを作って頂きたいと思っている。                    |

以上